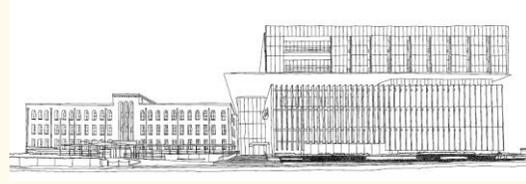




1 庁舎の誕生



京都府は、慶応4年(1868、明治元年)閏4月29日(太陰曆=太陽曆6月19日)に京都裁判所を改めて開庁されました。明治2年(1869)に京都守護職上屋敷跡に、同4年(1871)に二条城内にそれぞれ移転し、同18年(1885)に再び当地に戻る際には屋敷跡に開設された京都府中学校の旧校舎を庁舎として利用します。その後、地方行政に求められる府県庁舎建設の潮流を受け、同32年(1899)に京都府新庁舎建設計画が立案され、同37年(1904)に京都府庁本館(現・京都府庁旧本館)が竣工しました。その後、旧本館を囲うように現在の1号館、2号館などの庁舎が建設されました。



京都府

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町
京都府 総務部 府有資産活用課
TEL 075-414-5446

発行年 初版 2023年10月
第2版 2024年3月
第3版 2024年9月
発行者 総務部 府有資産活用課

「京都府庁建築マップ」は、府有資産活用課で確認できた過去資料等を元に作成・編集したものです。

十河安雄は、高松中学を中退後、香川県土木工手・土木技手、福井県工手・土木工手を務め、兵庫県建築技手時代に夜間制の関西工専修学校高等建築科を卒業。大阪府に外向した後、昭和2年(1927)には京都府建築技師となり、京都府宮内省に在籍し、旧京都府警察本部本館の設計に携わりました。京都府立医科大学附属図書館(現・同大学本部棟(旧附属図書館))、回廊床講義棟、京都府立第一高等女学校(現・京都府立鴨沂高等学校)、京都府師範学校附属小学校(現・京都教育大学附属京都小中学校)校舎の設計を担当した他、黎明会館の工事監督を務めたことでも知られています。

昭和大礼の挙行を契機に警察部庁舎の新築の議が起こり、京都府警察本部本館が建設されました。令和2年(2020)5月まで京都府警察本部の本館として稼働。南北に細長い長方形の平面で中央東側に階段室があります。外部ではロマネスク様式として1階東西の主要闊の半円アーチ、窓廻りの形状や細部の装飾が見られ、スラブトラス、梁廻りの装飾、天井中心飾り等の室内意匠も数多く残っています。デザイン上の振幅が大きく、昭和初期の庁舎・ビル建築の意匠における秀作と云われています。文化庁移転を契機に、現代の庁舎建築として保存活用され、新しい時代が刻まれています。

松室重光は、松尾大社の摂社月読神社の神官の家柄に生まれ、生粋の京都人。日本近代建築のパイオニアである辰野金吾に師事し、明治30年(1897)に東京帝国大学工科大学造家学科を卒業後、同大学院在籍中に京都市嘱託技師に任用され、翌年、京都府技師に採用されました。明治30年に始まった古社寺保存法による文化財建造物の保存事業を担当する一方で、明治32年(1899)に京都府庁旧本館の設計に携わります。旧武徳殿や京都ハリストス正教会聖堂の設計者としても知られています。その後、九州鉄道技師を経て、満州へ渡り、関東都督府技師となり、旧大連市役所や旅順博物館等を設計しました。

5 十河安雄

5

1894-不明
香川県高松市出身



旧京都府警察本部本館
(京都府庁第4号館)

4

地上3階地下1階建
／鉄筋コンクリート造
設計：京都府宮内省
施工：清水組
昭和3年(1928) 竣工
令和4年(2022) 改修
令和6年(2024) 国有形文化財登録



松室重光

3

1873-1937
京都府愛宕郡下鴨村(京都市)出身



京都府庁旧本館

2

地上2階建(一部地下室付)
／煉瓦造一部石造
設計：松室重光(意匠)
・井九平(現場技術)
設計調査・工事監理：久留正道
施工：三上吉兵衛ら
明治37年(1904) 竣工
平成16年(2004) 国重要文化財指定

